

公共事業等施行状況調（令和4年5月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (5月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	23,764	24,944	16,811	15,541	3,869	23.0	4,165	26.8	
2	農林・水産	32,749	30,988	24,654	22,974	4,584	18.6	3,212	14.0	
3	道 路	53,793	51,428	33,860	30,691	6,581	19.4	7,469	24.3	
4	港湾・空港	7,082	6,973	2,983	3,319	884	29.6	496	14.9	
5	下水道・公園	9,868	9,525	2,732	2,468	144	5.3	53	2.1	
6	住 宅	1,489	1,805	1,045	1,309	315	30.1	564	43.1	
7	庁 舎	2,467	3,475	2,315	3,240	1,194	51.6	878	27.1	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	5,802	19,321	4,519	13,666	299	6.6	768	5.6	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	84	102	34	40.5	15	14.7	
12	災害復旧	602	211	457	203	0	0.0	61	30.0	
13	その他	7,419	9,672	4,153	6,705	685	16.5	2,087	31.1	
	計	145,984	159,375	93,613	100,218	18,589	19.9	19,768	19.7	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年5月末）

（単位：社、件、百万円、％）

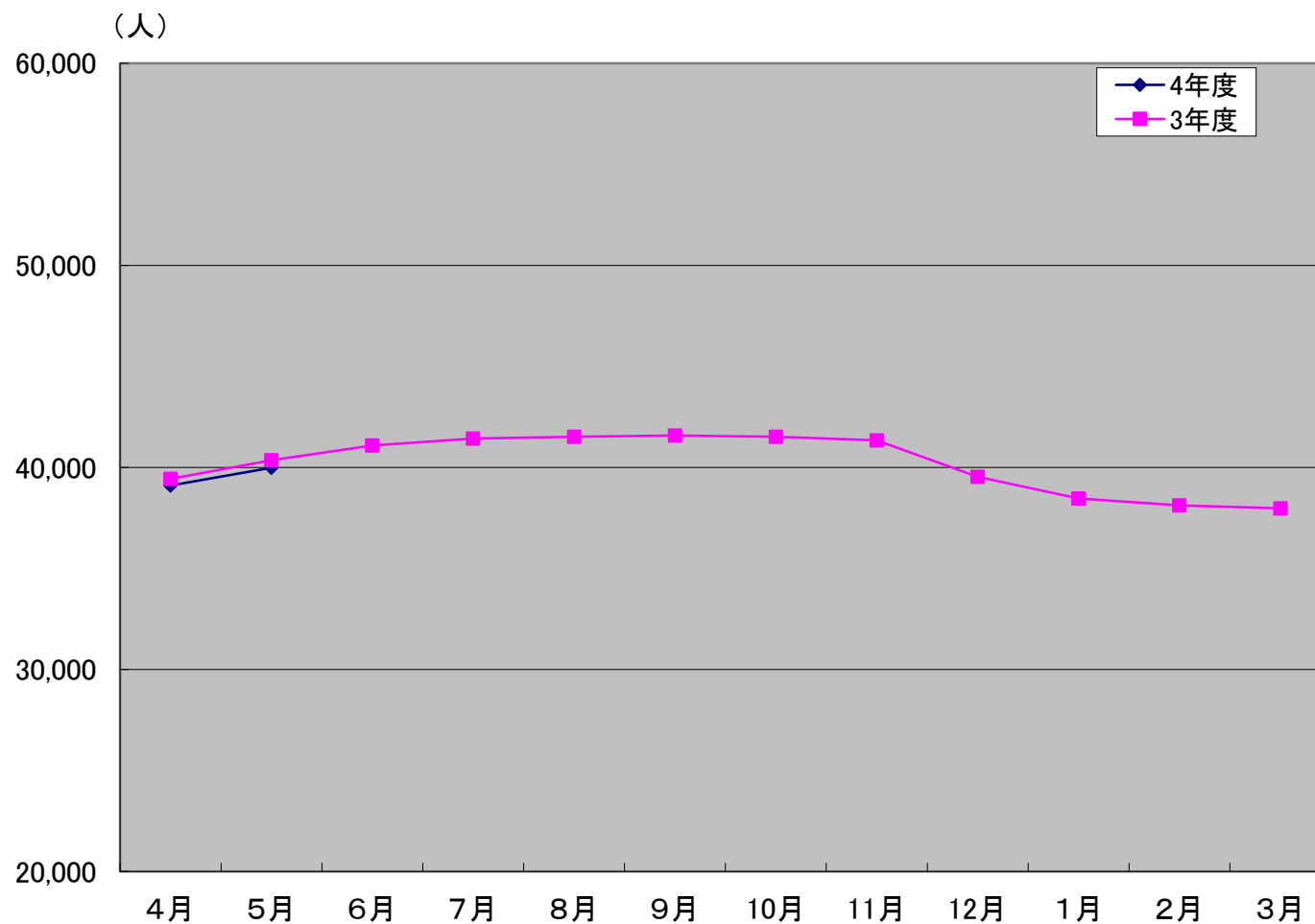
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	145,984	93,613	4,258	439	18,589	4,147	414	14,994	69	11	786	42	14	2,809
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					19.9	97.4	94.3	80.7	1.6	2.5	4.2	1.0	3.2	15.1
前年度比	91.6	93.4	90.2	90.1	94.0	89.6	89.4	94.8	209.1	110.0	179.1	71.2	100.0	80.0
3年度	159,375	100,218	4,721	487	19,768	4,629	463	15,817	33	10	439	59	14	3,513
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					19.7	98.1	95.1	80.0	0.7	2.1	2.2	1.2	2.9	17.8

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月		41,085
7月		41,421
8月		41,521
9月		41,577
10月		41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	39,104
資格取得者数	1,392
資格喪失者数	516
転入者数	4
転出者数	1
今月末被保険者数	39,983

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)5月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年6月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○				○						○														県内の4月の販売量は2万4千トン(セメント協会調べ)で前年同月比27.6%の減。値上げ額の一部が浸透した後も、メーカー各社は目標額に達していないとし、値上げ交渉を続けている。一方、主たる需要家の生コンメーカーは、これ以上の値上げ受け入れは採算悪化を招くとして、慎重な姿勢を崩していない。積み残し分の交渉決着には、しばらく時間を要する見込み。先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○				○						○														道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。荷動きが精彩を欠くなか、採算悪化に危機感を抱くメーカー各社は、昨年10月の値上げの未転嫁分の早期浸透を目指し粘り強く交渉を継続している。一部の需要家は理解を示しており、先行き、強含みで推移する公算が大きい。
生コンクリート		○				○						○														県内の5月の出荷量は3万9千3(生コン工組調べ)で前年同月比29.3%の減。県内全体の生コンの需要が低調に推移している。メーカー各社は、原材料の値上がりや輸送コスト増加による採算悪化回避のため、4月から1,000円以上の値上げを表明している。メーカー各社のこうした動きに、需要家は理解を示す向きも見られ一部地域では値上げが浸透した。今後、県内各地でも両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、先行き、強含みの見通し。
砕石		○				○						○														生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は、原油高による輸送コストの増加や出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に値上げを表明。県内各地で、需要家が安定調達を優先し値上げを受け入れた。一部メーカーは、引き続き値上げの未転嫁分の早期浸透を目指し粘り強く交渉を継続しているものの、需要家は慎重な姿勢を崩してはいない。先行き、横ばいの見通し。
小 棒		○				○						○														SD295・D16でトン当たり122,000円と前月比変わらず。原料の鉄スクラップ価格は5月の連休明け後から大幅に下落したが、電力料金や副資材価格などが高値で推移しコスト増。メーカー各社は未だ採算が改善されていないとし、現行価格維持の姿勢を崩していない。需要家は鉄スクラップ価格が弱基調で推移しているため、当用買いに徹しながら値下げ要求の姿勢を示している。しかし、メーカーおよび流通筋の価格維持の姿勢は強く、安値取引は見られない。目先、横ばい推移の見通し。
アスファルト		○				○						○														5月の県内出荷量は4万1千トン(合材協会調べ)で前年同期比29.7%の減。4月以降、メーカー各社は製造コスト増加を理由にさらなる値上げを表明。メーカー各社は、出荷量減少と原材料であるスチール価格上昇による採算悪化に危機感を強めている。多くの需要家は値上げの受け入れには慎重な姿勢だったものの、原油価格が高値圏で推移するなか、ここにきて値上げに理解を示す向きも見られはじめた。今後、両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、目先、強含みの見通し。
木 材		○				○						○														管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり124,000円と前月比変わらず。4月の県内新設住宅着工戸数は598戸で前年同月比6.1%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比8.3%の減少、貸家が同32.6%の増加などとなっている。市中の需要がやや低調に推移するなか、原木について合板工場との取り合いが拡大しているため、引き締まった展開。欧州材については今後、ウクライナ情勢の影響が懸念され、米材は最近の記録的な円安の影響が表面化してくる可能性がある。目先、横ばいの見通し。
油 類		○				○						○														軽油はミネローリー渡しでリットル当たり120円、重油はローリー渡しで81円と共に前月比変わらず。中国の需要減退懸念やEUのロシア産原油の禁輸合意により原油相場は不透明な状況が続いた。これを受け元売り各社の仕切価格は上下したが、燃料油価格激変緩和対策により販売価格の変動は抑えられた。主要産油国が原油増産幅の拡大に合意する一方、ロシア産原油の生産量減少を補い切れないとの観測から相場は波乱含みの様相。目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○									○														12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,070円と前月比70円の上伸。17カ月連続で値上がりした。原木や接着剤の高騰に起因する現地価格の上昇が止まらず、流通筋は調達コストの増加分を販売価格に上乗せしている。現地の原木不足は深刻化しており、一部工場の稼働にも影響が出始めている。このため、国内入荷量が回復する見通しは立っていない状況。現地の原木高に加え、労働者の最低賃金の上昇するなど、今後も輸入価格は高水準で推移する見込み。目先、強含みの見通し。
形 鋼		○				○						○														200×100でトン当たり125,000円と前月比4,000円の上伸。流通各社は仕入れ価格上昇分を販売価格に転嫁すべく、値上げ交渉を継続。原料の鉄スクラップ価格が大幅下落しているが、主力電機メーカーは販売価格の据え置きを表明するなど価格優先の販売姿勢を堅持している。こうしたなか、値上げ額の一部が浸透し、続伸局面となっている。需要面に大きな変化はなく、盛り上がり欠く商況が今後続くとの見方が強い。流通各社の売り腰に緩む気配はなく、目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年6月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	15,500	6.2	13,433	2.3	
砕石等	洗砂	m3	3,300	6.5	3,200	6.7	4,500	4.7	3,667	5.8	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	5.4	4,700	2.2	4,200	2.4	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,900	0.0	3,000	7.1	3,300	3.1	3,067	3.4	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	146,000	0.0	146,000	0.0	146,000	0.0	146,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	122,000	0.0	122,000	0.0	122,000	0.0	122,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	122,000	18.4	122,000	18.4	122,000	18.4	122,000	18.4	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	13,100	0.0	13,400	0.0	12,800	0.0	13,100	0.0	131,000円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	120.0	0.0	120.0	0.0	120.0	0.0	120.0	0.0	120,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	81.0	0.0	81.0	0.0	81.0	0.0	81.0	0.0	81,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,070	3.5	2,070	3.5	2,070	3.5	2,070	3.5	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	3.3	125,000	3.3	125,000	3.3	125,000	3.3	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

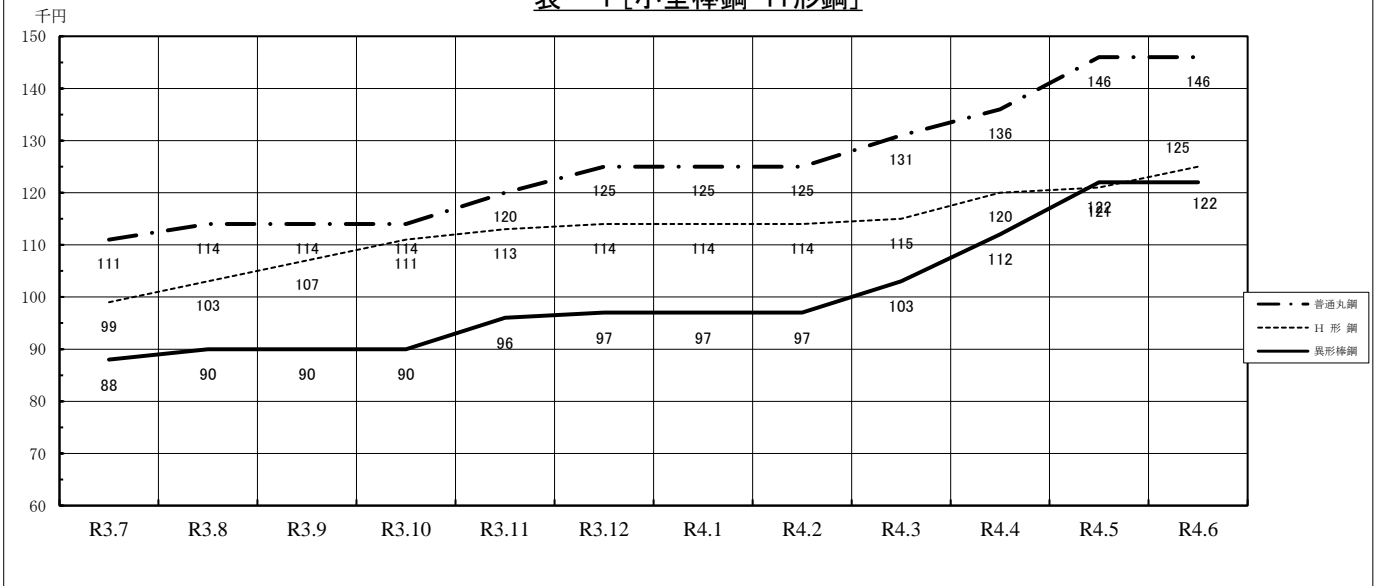


表-2 [セメント・生コン]

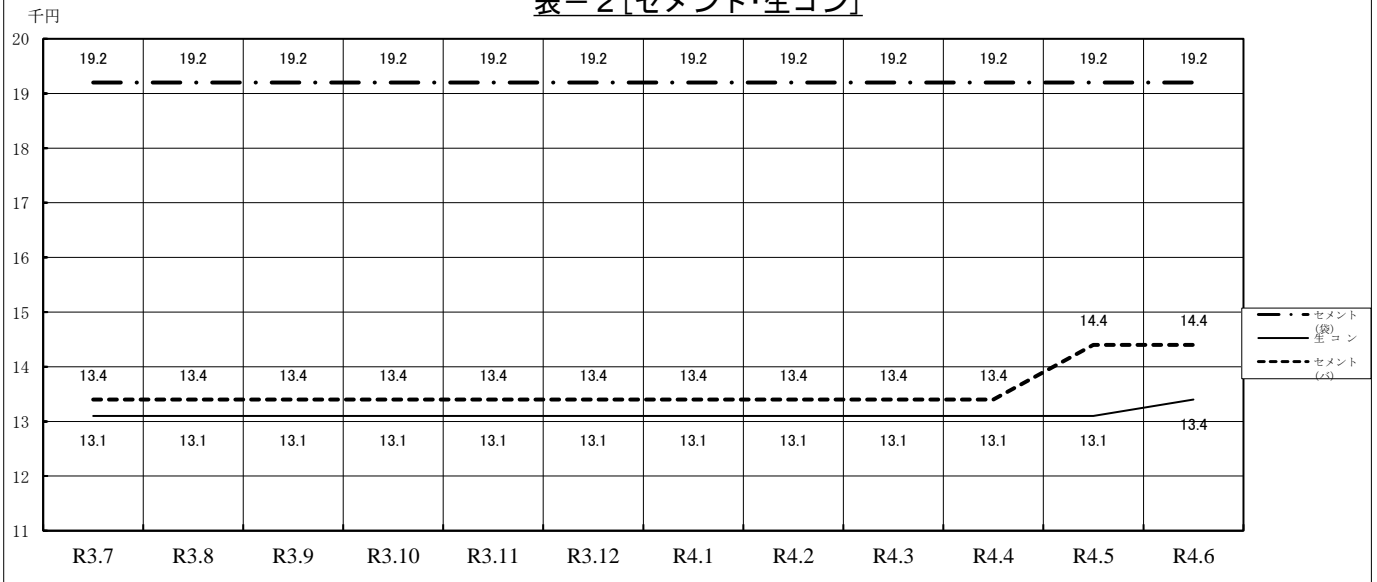
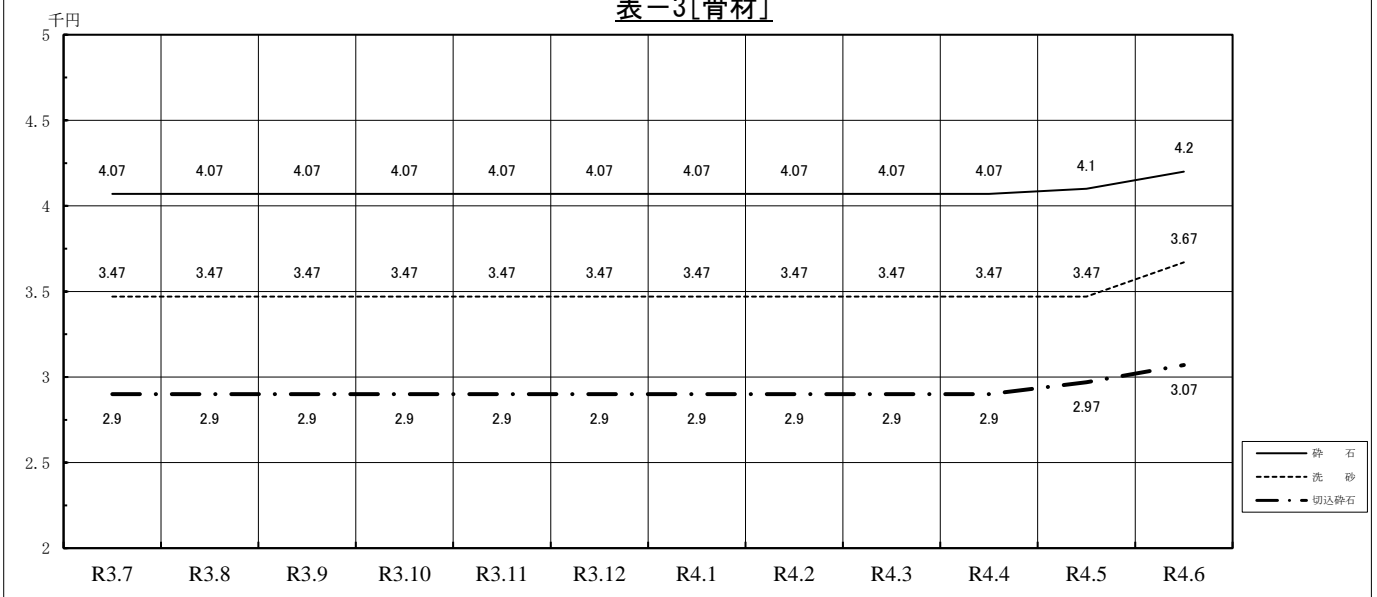


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

